

平成22年3月期 第2四半期決算短信

平成21年10月28日

上場会社名 東京瓦斯株式会社

上場取引所 東 大 名

コード番号 9531 URL <http://www.tokyo-gas.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 鳥原 光憲

問合せ先責任者 (役職名) 経理部 (氏名) 相澤 正人
連結・税務グループマネージャー

TEL 03-5400-7736

四半期報告書提出予定日 平成21年11月16日

配当支払開始予定日

平成21年11月24日

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第2四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(％表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第2四半期	632,074	△14.6	46,444	—	50,594	—	32,743	—
21年3月期第2四半期	740,057	—	△9,555	—	△11,462	—	△1,675	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第2四半期	12.07	—
21年3月期第2四半期	△0.63	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第2四半期	1,722,234	816,113	46.7	296.69
21年3月期	1,764,185	784,616	43.8	284.72

(参考) 自己資本 22年3月期第2四半期 804,815百万円 21年3月期 772,365百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	4.00	—	4.00	8.00
22年3月期	—	4.00			
22年3月期 (予想)			—	4.00	8.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(％表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,407,000	△15.2	72,000	10.4	72,000	23.4	48,000	15.1	17.70

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
新規 一社 (社名) 除外 一社 (社名)

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有
(注)詳細は、「定性的情報・財務諸表等」4. その他(7ページ)をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 有

(注)詳細は、「定性的情報・財務諸表等」4. その他(7ページ)をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 22年3月期第2四半期 2,717,571,295株 21年3月期 2,717,571,295株

② 期末自己株式数 22年3月期第2四半期 4,966,880株 21年3月期 4,884,659株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 22年3月期第2四半期 2,712,633,766株 21年3月期第2四半期 2,646,424,434株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

平成21年7月30日発表の連結業績予想の修正を行っています。上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。なお、上記予想に関する事項は、「定性的情報・財務諸表等」3. 連結業績予想に関する定性的情報(5ページ)をご覧ください。

※平成22年3月期の個別業績予想

(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
通期	1,202,000	52,000	54,000	36,000	13.27

業績予想の修正を行っており、本資料では修正後の予想数値を記載しています。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間（21年4月～9月）のガス販売量は、工業用需要が既存設備の稼働減等により減少したこと及び家庭用需要が前年同四半期に比べて気温が高く推移した影響で給湯需要が減少したこと等により、前年同四半期比8.4%減の6,166百万m³にとどまりました。これに加え、原料費調整制度に基づく料金単価調整等によりガス売上高は同15.7%減の4,665億円となりました。

このガス売上高の減少等を受け、連結売上高は同14.6%減の6,320億円となりました。

一方、営業費用については経営効率化の一層の推進を図り、費用の抑制に最大限の努力を重ねてまいりましたことに加え、ガス原材料費が減少したこと等により、同21.9%減の5,856億円となりました。

この結果、前年同四半期と比べて、営業利益は559億円改善の464億円、経常利益は619億円改善の505億円となり、法人税等を計上した結果、四半期純利益は343億円改善の327億円となりました。

売上高についてはガス事業の売上高がその大半を占めているため、事業の性質上気温等の影響により著しい季節的変動があります。

（平成22年3月期第2四半期連結累計期間ガス販売量）

			当第2四半期 累計期間 (21.4～21.9)	前第2四半期 累計期間 (20.4～20.9)	増減	増減率 (%)	
お客さま件数		千件	10,563	10,423	140	1.3	
ガス 販売量	家庭用	m ³	24.19	25.18	△0.99	△3.9	
		百万m ³	1,300	1,341	△41	△3.0	
	業務用	商業用	百万m ³	990	1,049	△59	△5.7
		その他用	百万m ³	481	465	16	3.5
	工業用		百万m ³	2,554	2,995	△441	△14.7
	計		百万m ³	4,025	4,509	△484	△10.7
	他事業者向け供給		百万m ³	841	880	△39	△4.4
	合計		百万m ³	6,166	6,730	△564	△8.4
平均気温		℃	22.4	22.1	0.3	—	

（注）① 家庭用上段数値は、調定1件当たり販売量（m³/件・月）

② 業務用の「その他用」は、公用及び医療用

③ ガス販売量は45MJ（メガジュール）/m³

（原油価格及び為替レート）

	当第2 四半期連結 累計期間	前第2 四半期連結 累計期間	増減		当第2 四半期連結 累計期間	前第2 四半期連結 累計期間	増減
原油価格 (\$/bbl)	61.81	119.71	△57.90	為替レート (円/\$)	95.53	106.12	△10.59

2. 連結財政状態に関する定性的情報

21年3月期末に比べ、総資産は、期末の時価評価による投資有価証券残高の増加等があったものの、季節要因による受取手形及び売掛金の残高の減少等により419億円減少し、1兆7,222億円となりました。

純資産は、剰余金の配当（108億円）等により減少しましたが、四半期純利益の計上（327億円）及びその他有価証券評価差額金残高の増加（61億円）等により増加し、8,161億円となりました。

総資産が減少したのに対し、自己資本（株主資本及び評価・換算差額等の合計）が増加した結果、自己資本比率は46.7%と2.9ポイント上昇しました。

また、1株当たり純資産は11円97銭増加し、296円69銭となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

21年7月30日公表の22年3月期第1四半期決算短信に記載した連結業績予想に対して、前提となる経済フレームについては変更していません（原油価格については10月以降平均70\$/bb1、為替レートについては10月以降95円/\$）。なお、通期の原油価格見通しは65.91\$/bb1、通期の為替レート見通しは95円27銭/\$となります。

その結果、通期の連結業績予想においては、当社及び連結子会社の業績予想の修正により、売上高は70億円減の1兆4,070億円となるものの、経常利益は80億円増の720億円、当期純利益は60億円増の480億円と、それぞれ前回業績予想を上回る見通しです。

当社の通期個別業績予想については、同じく21年7月30日公表の22年3月期第1四半期決算短信に記載した個別業績予想に対して、ガス販売量は、工業用需要の回復等により全体としては前回見通しを上回りますが（+0.8%）、家庭用及び業務用の販売量は前回見通しを下回ります。これにより、ガス売上高が減少すること等から、売上高は100億円減の1兆2,020億円となるものの、諸経費の減少を見込むこと等により、営業利益は変更していません。また、営業外収益として受取配当金等を見込んだ結果、経常利益は40億円増の540億円、当期純利益は30億円増の360億円と、それぞれ前回業績予想を上回る見通しです。

(1) 連結決算

①収支見通し

(単位：億円)

	売上高		営業利益	経常利益	当期純利益
	ガス	ガス以外			
21年度見通し	14,070	3,682	720	720	480
20年度実績	16,601	4,025	652	583	417
増減	△2,531	△343	68	137	63
増減率(%)	△15.2	△8.5	10.4	23.4	15.1

(注) 事業間の内部売上高はガス以外の欄で調整しています。

②ガス販売量見通し

(単位：百万m³)

		21年度見通し	20年度実績	増減	増減率(%)	
ガス 販 売 量	家庭用	3,422	3,468	△46	△1.3	
	業務用	商業用	1,992	2,032	△40	△2.0
		その他用	948	979	△31	△3.1
	工業用	5,345	5,623	△278	△4.9	
	計	8,285	8,634	△349	△4.0	
	他事業者向け供給	1,791	1,840	△49	△2.7	
合計		13,498	13,942	△444	△3.2	

(2) 個別決算

①収支見通し

(単位：億円)

	売上高			営業利益	経常利益	当期純利益
		ガス	ガス以外			
21年度見通し	12,020	10,050	1,970	520	540	360
20年度実績	14,481	12,257	2,224	425	398	250
増減	△2,461	△2,207	△254	95	142	110
増減率(%)	△17.0	△18.0	△11.4	22.2	35.5	43.5

②ガス販売量見通し

(単位：百万m³)

			21年度見通し	20年度実績	増減	増減率(%)
ガス 販 売 量	家庭用		3,316	3,368	△52	△1.5
	業務用	商業用	1,901	1,952	△51	△2.6
		その他用	887	916	△29	△3.1
	工業用		4,842	5,280	△438	△8.3
	計		7,631	8,148	△517	△6.3
	他事業者向け供給		2,020	2,073	△53	△2.6
	合計		12,967	13,589	△622	△4.6

(原油価格及び為替レート)

	21年度見通し	20年度実績	増減		21年度見通し	20年度実績	増減
原油価格 (\$/bbl)	65.91	90.52	△24.61	為替レート (円/\$)	95.27	100.71	△5.44

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

①簡便な会計処理

イ 一般債権（経営状態に重大な問題が生じていない債務者に対する債権）の貸倒見積高の算定方法

貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められる場合に、前連結会計年度決算において算定した貸倒実績率等の合理的な基準を使用して一般債権の貸倒見積高を算定する方法を採用しています。

ロ たな卸資産の評価方法

たな卸資産の簿価切下げに関して収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積もり、簿価切下げを行う方法を採用しています。

ハ 法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断に関して、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められる場合に、前連結会計年度決算において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法を採用しています。

②四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

税金費用の計算

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積もり、税引前四半期純利益（累計期間）に当該見積実効税率等乗じて計算しています。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

①完成工事高及び完成工事原価の計上基準の変更

請負工事に係る収益の計上基準については、従来、主として工事完成基準を適用していましたが、「工事契約に関する会計基準」（企業会計基準第15号 平成19年12月27日）及び「工事契約に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第18号 平成19年12月27日）を第1四半期連結会計期間より適用し、第1四半期連結会計期間に着手した工事契約から、当第2四半期連結会計期間末までの進捗部分について成果の確実性が認められる工事については工事進行基準（工事の進捗率の見積りは原価比例法）を、その他の工事については工事完成基準を適用しています。

この変更による損益への影響は、軽微です。

②半成工事の計上科目の変更

当社及び連結子会社において計上した半成工事については、従来、ガス事業会計規則に準拠して、その他流動資産に計上していましたが、第1四半期連結会計期間より、「工事契約に関する会計基準」（企業会計基準第15号 平成19年12月27日）及び「工事契約に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第18号 平成19年12月27日）を適用することを契機に、その会計上の性質を見直した結果、明瞭性を考慮し、仕掛品に計上しています。

なお、前連結会計年度末のその他流動資産に含まれる半成工事の金額は15,984百万円です。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
固定資産		
有形固定資産		
製造設備	188,233	193,613
供給設備	475,186	490,809
業務設備	58,400	60,510
その他の設備	305,152	297,643
休止設備	316	316
建設仮勘定	72,664	67,957
有形固定資産合計	1,099,954	1,110,852
無形固定資産		
のれん	1,680	1,233
その他無形固定資産	24,000	24,816
無形固定資産合計	25,681	26,049
投資その他の資産		
投資有価証券	130,141	109,173
長期貸付金	33,990	24,839
繰延税金資産	42,916	46,212
その他投資	34,530	35,847
貸倒引当金	△908	△906
投資その他の資産合計	240,669	215,166
固定資産合計	1,366,305	1,352,068
流動資産		
現金及び預金	84,702	66,905
受取手形及び売掛金	115,319	166,542
リース債権及びリース投資資産	26,417	25,594
商品及び製品	4,140	3,807
仕掛品	24,791	43
原材料及び貯蔵品	43,540	56,905
繰延税金資産	14,545	13,461
その他流動資産	42,925	79,431
貸倒引当金	△454	△574
流動資産合計	355,928	412,117
資産合計	1,722,234	1,764,185

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
負債の部		
固定負債		
社債	271,591	291,490
長期借入金	189,045	207,741
繰延税金負債	4,134	3,654
退職給付引当金	115,554	100,734
ガスホルダー修繕引当金	3,399	3,555
保安対策引当金	773	1,450
その他固定負債	23,894	24,597
固定負債合計	608,393	633,223
流動負債		
1年以内に期限到来の固定負債	91,067	88,169
支払手形及び買掛金	78,596	103,319
短期借入金	7,425	5,910
未払法人税等	23,694	34,894
繰延税金負債	3	2
その他流動負債	96,939	114,048
流動負債合計	297,727	346,345
負債合計	906,121	979,568
純資産の部		
株主資本		
資本金	141,844	141,844
資本剰余金	2,065	2,065
利益剰余金	652,559	631,045
自己株式	△2,372	△2,361
株主資本合計	794,096	772,594
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	17,531	11,466
繰延ヘッジ損益	842	920
為替換算調整勘定	△7,655	△12,615
評価・換算差額等合計	10,719	△228
少数株主持分	11,297	12,250
純資産合計	816,113	784,616
負債純資産合計	1,722,234	1,764,185

(2) 四半期連結損益計算書
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
売上高	740,057	632,074
売上原価	531,721	359,992
売上総利益	208,335	272,082
供給販売費及び一般管理費		
供給販売費	182,558	191,317
一般管理費	35,333	34,320
供給販売費及び一般管理費合計	217,891	225,637
営業利益又は営業損失(△)	△9,555	46,444
営業外収益		
受取利息	574	570
受取配当金	911	688
持分法による投資利益	3,164	1,876
為替差益	—	5,560
雑収入	4,354	3,510
営業外収益合計	9,005	12,206
営業外費用		
支払利息	5,391	5,400
雑支出	5,520	2,655
営業外費用合計	10,912	8,056
経常利益又は経常損失(△)	△11,462	50,594
特別利益		
リース会計基準の適用に伴う影響額	7,846	—
厚生年金基金代行返上益	1,559	—
特別利益合計	9,406	—
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△2,056	50,594
法人税、住民税及び事業税	△578	16,661
法人税等調整額	△281	762
法人税等合計	△860	17,423
少数株主利益	479	426
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△1,675	32,743

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△2,056	50,594
減価償却費	64,775	68,195
長期前払費用償却額	2,094	2,045
有形固定資産除却損	920	893
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△1,808	14,820
前払年金費用の増減額(△は増加)	9,027	—
保安対策引当金の増減額(△は減少)	△936	△677
受取利息及び受取配当金	△1,486	△1,259
支払利息	5,391	5,400
持分法による投資損益(△は益)	△3,164	△1,876
売上債権の増減額(△は増加)	28,708	59,016
たな卸資産の増減額(△は増加)	△38,990	11,621
仕入債務の増減額(△は減少)	△17,489	△41,600
未払消費税等の増減額(△は減少)	△1,206	3,525
前払費用の増減額(△は増加)	△9,229	△9,282
未収入金の増減額(△は増加)	4,976	19,301
リース債権及びリース投資資産の増減額(△は増加)	△1,037	△822
リース会計基準の適用に伴う影響額	△7,846	—
その他	△22,254	△4,168
小計	8,387	175,728
利息及び配当金の受取額	2,211	2,305
利息の支払額	△5,365	△5,686
法人税等の支払額	△14,791	△25,965
営業活動によるキャッシュ・フロー	△9,558	146,381
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△3,110	△4,240
定期預金の払戻による収入	2,500	3,150
投資有価証券の取得による支出	△10,172	△7,104
投資有価証券の売却及び償還による収入	952	—
有形固定資産の取得による支出	△66,577	△64,717
無形固定資産の取得による支出	△1,904	△2,713
事業譲渡による収入	—	1,432
長期前払費用の取得による支出	△594	△670
長期貸付けによる支出	△6,745	△9,777
長期貸付金の回収による収入	645	851
短期貸付金の純増減額(△は増加)	—	894
その他	229	349
投資活動によるキャッシュ・フロー	△84,776	△82,544

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△1,709	1,009
コマーシャル・ペーパーの増減額 (△は減少)	84,000	—
リース債務の返済による支出	△1	△364
長期借入れによる収入	40,300	7,697
長期借入金の返済による支出	△20,673	△14,971
社債の発行による収入	20,000	—
社債の償還による支出	—	△30,050
少数株主への払戻による支出	—	△907
自己株式の売却による収入	127	47
自己株式の取得による支出	△10,248	△76
配当金の支払額	△10,621	△10,845
少数株主への配当金の支払額	△243	△352
財務活動によるキャッシュ・フロー	100,929	△48,813
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,569	1,263
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	5,024	16,286
現金及び現金同等物の期首残高	43,706	64,009
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	1	349
連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額	△45	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	48,686	80,645

(4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

前第2四半期連結累計期間(自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)

(単位:百万円)

	ガス	ガス器具	受注工事	不動産 賃貸	その他 の事業	計	消去 又は全社	連結
売上高								
①外部顧客に対する 売上高	534,817	55,858	19,280	6,452	123,649	740,057	—	740,057
②セグメント間の 内部売上高又は 振替高	18,973	1,505	1,488	11,389	44,850	78,207	(78,207)	—
計	553,790	57,364	20,768	17,841	168,499	818,265	(78,207)	740,057
営業損益	11,808	1,879	(930)	4,880	4,604	22,243	(31,799)	(9,555)

当第2四半期連結累計期間(自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)

(単位:百万円)

	ガス	ガス器具	受注工事	不動産 賃貸	その他 の事業	計	消去 又は全社	連結
売上高								
①外部顧客に対する 売上高	453,278	51,278	17,358	6,318	103,840	632,074	—	632,074
②セグメント間の 内部売上高又は 振替高	13,292	3,387	1,403	10,605	37,875	66,564	(66,564)	—
計	466,571	54,666	18,761	16,924	141,716	698,639	(66,564)	632,074
営業損益	66,181	1,179	(751)	4,227	6,267	77,105	(30,661)	46,444

[所在地別セグメント情報]

前第2四半期連結累計期間(自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)及び当第2四半期連結累計期間(自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)

全セグメントの売上高の合計に占める日本の割合が90%を超えているため、所在地別セグメント情報の記載を省略しています。

[海外売上高]

前第2四半期連結累計期間(自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)及び当第2四半期連結累計期間(自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)

海外売上高の合計が連結売上高の10%未満のため、海外売上高の記載を省略しています。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

6. その他の情報

(1) 四半期個別決算経営成績

(平成22年3月期第2四半期累計期間ガス販売量)

			当第2四半期 累計期間 (21.4～21.9)	前第2四半期 累計期間 (20.4～20.9)	増減	増減率 (%)	
お客さま件数			千件	10,298	10,166	132	1.3
ガス 販売量	家庭用		m ³	24.04	25.05	△1.01	△4.0
			百万m ³	1,260	1,300	△40	△3.1
	業務用	商業用	百万m ³	950	1,009	△59	△5.8
		その他用	百万m ³	454	436	18	4.2
	工業用		百万m ³	2,329	2,837	△508	△17.9
	計		百万m ³	3,733	4,282	△549	△12.8
	他事業者向け供給		百万m ³	945	987	△42	△4.3
	合計		百万m ³	5,938	6,569	△631	△9.6
平均気温			℃	22.4	22.1	0.3	—

(注) ① 家庭用上段数値は、調定1件当たり販売量 (m³/件・月)

② 業務用の「その他用」は、公用及び医療用

③ ガス販売量は45MJ (メガジュール) / m³

(平成22年3月期第2四半期累計期間収支実績)

(単位：億円)

収益					費用				
			対前第2 四半期累計 期間増減	率 (%)				対前第2 四半期累計 期間増減	率 (%)
製品売上	ガス売上	4,518	△882	△16.3	営業費	売上原価	2,147	△1,503	△41.2
						販管費	2,054	85	4.3
						計	4,202	△1,417	△25.2
その他 売上	受注工事	158	△21	△11.9	その他 費用	受注工事	166	△21	△10.8
	器具販売等	430	△61	△12.5		器具販売	397	△60	△13.1
	附帯事業	302	△119	△28.3		附帯事業	280	△137	△32.9
	計	890	△202	△18.5		計	844	△218	△20.5
総売上高		5,409	△1,084	△16.7	総費用		5,047	△1,635	△24.5
					営業利益		362	550	—
営業外収益		91	24	35.1	営業外費用		63	△27	△29.1
					経常利益		389	600	—
特別利益		—	—	—	特別損失		—	—	—
					四半期純利益		253	386	—

(注) ① 売上原価の中の原材料費は2,012億円 (対前第2四半期累計期間△1,509億円、△42.9%) です。

② 営業外費用の支払利息等は43億円 (対前第2四半期累計期間△1億円、△3.1%) です。

以上